

プログラム案

【別紙 1】

1日目 10月9日(木) 会場:岡山コンベンションセンター		
時 間	事 項(発表タイトル)	発表者名
8:30 - 9:00	受 付	
9:00 - 10:00 開 会	開会挨拶 趣旨説明	
	公民館・CLCの概要	大安 喜一 ユネスコ・ダッカ事務所 プログラム・スペシャリスト
10:00 - 13:00 基調講演 パネルディスカッション	ファシリテーター: Mr. Arne Carlsen ユネスコ生涯学習研究所所長	
	持続可能な社会づくりにおける地域に根ざした学 びの役割と展望	Dr. Arjen Wals ワーゲニンゲン大学教授(オランダ)
	ESD推進におけるCLCの役割と展望～インドネシア の事例から～	Dr. Fasli Jalal 家族計画調整委員会・会長(インドネ シア)
	ESD推進における公民館の役割と展望	末本 誠 神戸大学教授
13:00 - 14:30	昼 食	
14:30 - 18:00 事例発表	ファシリテーター: 青柳 茂 ユネスコ・ニューデリー事務所長 西井 麻美 ノートルダム清心女子大学教授	
	「未来に負の遺産を残さない」～学習による地域力 の構築～ESDの10年の実践を通して～	廣瀬 カズ子 NPO法人ボランティア・市民活動学習 推進センターいいたばし理事長・副理事長
	住民主体で地域課題解決に取り組む、飯田型公民 館の組織と活動について～飯田ムツス大学の取組 から～	飯田市公民館職員
	ノンケーム地区のCLCにおけるコミュニティ福祉 基金	Mr. Perasak Chantachot ノンフォーマル・インフォー マル教育ピサスローク地方事務所教育官(タイ)
	仲間(ピア)を基盤としたCLCへのアプローチ	Ms. Anjali Aagrwal マディヤ・プラデーシュ インドール成人教育リソースセンター所長(インド)
	社会目的教育(Social Purpose Education)のCLC 事業への導入～イギリスの視点から～	Mr. Matthew Livingstone 労働者教育協会地域教育 プロジェクトコーディネーター(イギリス)
19:00 - 20:30 歓迎レセプション		

特別分科会※ 1日目 会場:岡山コ ンベンション センター	

2日目 10月10日(金)		
9:00 - 13:00 7分科会 (公民館活動見学を含む)	分科会1【環境保全】 会場:藤田公民館	
	ファシリテーター: Mr. Ramesh Savalia 環境教育センタープログラム・コーディネーター(インド) 小栗 有子 鹿児島大学生涯学習教育研究センター 准教授	
	「水」の保全活動を通じた地域づくり	岡山市立公民館職員
	里山整備事業	安永 耕造 松山市久米公民館長
	グリーン・サスティナブル・センターとしてのCLC	Mr. Dil Shrestha 学校外教育リソースセンター エグゼクティブ・ディレクター(ネパール)
	カンガルー島における持続可能な暮らし:コミュニ ティ学習の変遷	Ms. Eulia Ley カンガルー島コミュニティ教育コー ディネーター (オーストラリア)
	分科会2【防災・減災】 会場:御津公民館	
	ファシリテーター: Ms. Zenaida Domingo 生涯学習・持続可能な開発東南アジアセンター所長(フィリピン) 野口 扶美子 ESD-J国際プログラム・コーディネーター	
	自分の住み続けたい「まち」づくり～持続可能な地 域を創るための人づくり～	岡山市立公民館職員
	東日本大震災の教訓～気仙沼市の公民館の取組 みから～	白幡 勝美 気仙沼市教育委員会教育長
	フィリピン ベンケット州の学校およびオルタナティブ 学習におけるESDの主流化	Mr. Ramon Mapa コミュニティ開発のための住民イニ シアティブ エグゼクティブ・ダイレクター(フィリピン)
	自然災害への対処に向けた革新的な識字教育の 促進	Dr. Ade Kusmiadi インドネシア教育省ノンフォーマル・ インフォーマル教育・幼児教育開発センター所長
	分科会3【収入向上・社会的起業・地域活性化】 会場:西大寺公民館	
	ファシリテーター: Ms. Ethel Valenzuela 東南アジア教育大臣機構・東南アジア教育革新・教育技術 センター(SEAMEO-INNOTECH)シニア・スペシャリスト(フィリピン) 手打 明敏 日本公民館学会会長/筑波大学教授	
	人が地域を創る	岡山市立公民館職員
	地域再生～やる気を起こせば必ず奇跡は起きる	豊重 哲郎 鹿屋市柳谷自治公民館館長
	ソーシャルビジネス:財政的持続性と若者の雇用 創出を促進するCLCの選択肢として	Mr. Niroj Shrestha Shikharapurコミュニティ ラーニングセンター創始者(ネパール)
	生涯学習基盤の光明市における社会的経済の事 例報告	Ms. Min Sun Shin 光明市平生学習院院長(韓国)
	分科会4【文化の多様性と対話・世代間交流】 会場:東公民館	
	ファシリテーター: Mr. Li Wang 地域教育国際研究教育センター(INRULED)副所長(中国) 二ノ宮リム さち 東京農工大学 特任准教授 世界展開力強化事業コーディネーター	
	人々がつなぐ「ふるさと」の創造	岡山市立公民館職員
	調整中	萱野 志朗 萱野茂二風谷アイヌ資料館館長
	先住民の知恵を活用した農村コミュニティのCLCに おけるESDの推進～マレーシア サバ州の事例か ウガンダにおける識字教育と持続可能な社会の促 進のための世代間・文化間交流	Ms. Anne Lasimbang コミュニティ組織パートナーズ (マレーシア) Dr. Willy Ngaka マケレレ大学生涯学習センター ナショナル・コーディネーター(ウガンダ)

特別分科会 2日目 会場:岡山コ ンベンション センター	

9:00 - 13:00 7分科会 (公民館活動見学を挟む)	分科会5【リテラシー】 会場:京山公民館		特別分科会 会場:岡山コンベンションセンター
	ファシリテーター: Mr. Safiqul Islam, バングラデシュ農村向上委員会(BRAC)教育局長(バングラデシュ) 寺尾 明人 日本ユネスコ協会連盟事務局次長 兼 教育文化事業部長		
	ICTは地域づくりの活性剤	岡山市立公民館職員	
	湖南省国際文化教室～多文化共生をめざして 母語とアイデンティティを学ぶ～	中村 作正 湖南省政策調整部新しい公共推進課 課長	
	携帯電話を活用したポスト・リテラシーの促進	Mr. Shazad Hussain リテラシー・コミュニティ審議会 プログラム・マネージャー(パキスタン)	
	インド アーンドラ・プラデーシュ州における潜在的な女性の部族リーダーを対象とした識字教育	Mr. Dominic Dsouza ラヤ(LAYA)副所長(インド)	
	分科会6【エンパワーメント】 会場:岡山コンベンションセンター		
	ファシリテーター: Ms. Elizabeth Roxas 環境ブロードキャストサークル(EBC)事務局長(フィリピン) 笹井 宏益 文部科学省 国立教育政策研究所 生涯学習政策研究部長		
	学び合いが地域を変える～新しいコミュニティの創	岡山市立公民館職員	
	生きづらさをこえる拠点としての若者たちの「たまり場」	井口 啓太郎 国立市公民館 主事・社会教育主事 島本 優子 国立市公民館青年室スタッフ(東京都)	
	社会的弱者、特に女性・青年・子どもが資源やサービスにアクセスできる持続可能な社会の構築	Mr. Abdur Rakib ダッカ・アサニア・ミッション プロジェクト・コーディネーター(バングラデシュ)	
	アフガニスタンの地域開発におけるCLCの有効性	Mr. Mohammad Hashemi 日本ユネスコ協会連盟 カブール事務所長(アフガニスタン)	
	少数山岳民族のためのCLC	Dr. Wilekha Leesuwatn チェンライ地方ノンフォーマル・インフォーマル教育事務所長(タイ)	
	持続可能なCLCの効果的で効率的なサービスの提供を通じたコミュニティのエンパワーメント「アンコールCLC」プロジェクトの事例から	Mr. Vutha Nong 日本ユネスコ協会連盟カンボジア事務所長(カンボジア)	
	分科会7【政策・マネジメント・スタッフの能力向上】 会場:岡山コンベンションセンター		
	ファシリテーター: Mr. Qi Zhiyong 甘肅省教育研究機関次長(中国) 大安 喜一 ユネスコダッカ事務所プログラム・スペシャリスト		
	岡山市立公民館におけるスタッフの能力向上	岡山市立公民館	
	公民館の学びがつなぐ、松本らしい地域づくり、ひとづくり	床尾 拓哉 松本市中央公民館 主事・社会教育主事(長野県)	
	アセアン諸国のESD政策について(仮)	Mee Young Choi ユネスコ・ジャカルタ事務所 ESD教育チームリーダー	
	学習村(Learning Village): 持続可能な将来に向けた農村のコミュニティと人々の変革	Ms. Dian Zhang 地域教育国際研究教育センター (INRULED)プログラム・アソシエート(中国)	
気候変動緩和・適応プログラムおよび持続可能な未来のための教育プログラムベトナム トゥアティエン・フエ州の事例から	Ms. Ngoc Nguyen 教育訓練省(MOET)専門員(ベトナム)		
CLCを通じたESDの推進	Mr. Ounpheng Khammang 教育・スポーツ省ノンフォーマル教育局副局長(ラオス)		
13:00 - 14:00	昼 食		
14:00 - 15:00	意見交換・まとめ		
15:00 - 16:30	会場移動(バスで分科会会場から岡山コンベンションセンターへ)		
16:30 - 18:00 分科会報告	ファシリテーター: Mr. Roberto Guevara アジア南太平洋成人教育協議会、オーストラリア(ASPBAE)会長 笹井 宏益 文部科学省 国立教育政策研究所 生涯学習政策研究部長		
3日目 10月11日(土) 会場:岡山コンベンションセンター			
9:00 - 11:00 成果文書案検討 ワークショップ	ファシリテーター: 宮沢 一朗 ユネスコ・バンコク事務局プログラム・スペシャリスト 柴尾 智子 財団法人ユネスコ・アジア文化センター(ACCU)教育協力部長		Mr. Buhai Simanjuntak インドネシアCLCアドバイザー(インドネシア) 野口 扶美子 ESD-J国際プログラム・コーディネーター 萬 理加 ユネスコ生涯学習研究所プログラム スペシャリスト
	ネットワークの提案		
	成果文書案検討		
11:00 - 14:00	サイドイベント・昼 食		
14:00 - 14:30 成果文書採択	成果文書案発表		
14:30 - 14:50 講 評	講 評		Dr. Charles Hopkins ESDに関するユネスコ世界会議 国際運営委員会委員
			佐藤 禎一 ESDに関するユネスコ世界会議 国際運営委員会委員
14:50 - 15:00 閉 会	閉会挨拶		
18:00 - 20:00 フェアウェルパーティー			
4日目 10月12日(日) エクスカージョン			

*プログラムは変更する場合があります。
(2014年6月11日現在)

*特別分科会(10月9日午後および10日)
日本の文部科学省は、2013年から公民館を中心として地域課題の解決を図る取組を支援する「公民館等を中心とした社会教育活性化支援プログラム」を進めており、公民館の新たな活性化策として期待を集めています。今回の国際会議ではそのプログラムの中間発表会を特別分科会として開催するとともに、その成果を全体会に反映させます。